

## グローバル・フード・バリューチェーン構築の検討課題

### I. ねらい

- (1) 産学官の連携による日本の「強み」を活かしたフード・バリューチェーン(FVC)の構築により、今後急速な成長が見込まれる世界の食市場を獲得し、我が国食産業の海外展開と成長を実現する(“海外からの所得を含む GNI の増大”)。
- (2) 我が国食産業の海外展開等による FVC 構築を通じ、日本食やコールドチェーン等の食のインフラシステムの輸出を推進する。これにより、生鮮品など高品質な日本食の輸出環境を整備する(“GDP の増大”)。
- (3) 我が国食産業の海外展開と経済協力の連携による FVC 構築により、途上国の経済成長と農村の所得増加を実現する(“新たな途上国支援の仕組みの構築”)。
- (4) 2020 年度に達成すべき日本の食関連産業の海外展開の目標の設定(日本の食関連産業の海外売上高)

※日本の食産業の3つの「強み」

① 高品質コールドチェーン

→ 先進技術を活用した生産から消費に至る適正な品質管理を可能とする高品質流通システム

② 高度な農業生産・食品製造システム

→ IT・省エネ・植物工場・品種開発等の先進技術を活用した高度な農業生産・食品製造システム

③ 先進性・利便性の高い日本型食品流通システム

→ POS、コンビニ、モール等の先進性・利便性の高い日本型食品流通システム

※世界の食市場は、2009 年 340 兆円から 2020 年 680 兆円に倍増。このうち、アジアは 82 兆円から 229 兆円に 3 倍増。

※2010 年の日本の食関連産業(食料品製造業・飲食サービス業)海外売上高:約 2.5 兆円

## Ⅱ. フードバリューチェーン構築の課題

### 1. 基本戦略

#### (1) 産学官連携による戦略的対応

- ・ 経営資源の投資によるビジネス展開が「民」、そのためのビジネス環境の整備が「官」との役割分担の下、産学官が連携し、日本の「強み」を活かした FVC 構築を戦略的に推進。
  - ① 生産→製造・加工→流通→消費に至る食のバリューチェーンをつなぐ。
  - ② 地域ごとの諸課題に連携して対応する。
  - ③ 日本食やコールドチェーン等の食のインフラシステムの輸出を推進する。

#### ※FVC 構築の課題

生産・流通・消費体制、投資等の規制・制度、食品の規格・基準、人材、税制、インフラ（コールドチェーン等）、資金調達 等

#### (2) 我が国・相手国の産学官連携の枠組みの構築

- ・ 産学官連携による相手国ニーズに対応した案件形成等のため、二国間政策対話、官民協議会等の枠組みの構築（我が国・相手国の産学官連携による食のインフラシステムの案件形成、官民ミッションの派遣等）

※ベトナム、ミャンマー、インドネシア、ロシアとの間で二国間政策対話の枠組みを設置

#### (3) 経済協力の戦略的活用

- ・ 途上国の援助から投資へのニーズを踏まえ、日本の食産業の海外展開と経済協力の連携による FVC 構築による途上国の経済成長と農村の所得向上を重点的に支援。
- ・ 農業・食品関連の経済協力は、民間企業の海外展開・投資と連携した取組に重点化。

#### (4) コールドチェーン等のインフラ整備

- ・ 相手国の政府や施策と連携し、コールドチェーンや食品加工団地等の食のインフラ整備の推進。これにより、生鮮品など高品質な日本食の輸出環境を整備。
- ・ 産学官連携によるハードインフラ（コールドチェーン、加工施設、農業機械、灌漑施設等）とソフトインフラ（品質管理、ICT、省エネ技術等）のパッケージ化による魅力ある案件形成

#### (5)ビジネス投資環境の整備

- ・ 二国間政策対話、経済連携交渉、トップセールス等を活用し、官民が連携し、相手国の投資、食品の規格・基準、知的財産権保護等の規制・制度の整備・改善
- ・ 世界に広がるハラール食品市場の獲得のため、官民連携によるハラール認証の取得促進

#### (6)情報収集体制の強化

- ・ 官民が連携し、進出先の市場調査、F/S 調査、テスト・マーケティング、実証事業等の推進
- ・ 海外ビジネス環境情報(投資、食品規格・基準等)の収集・提供、企業相談窓口の設置(ワンストップ化)

#### (7)人材の育成

- ・ 産学官連携で途上国等の大学の寄付講座の開設、相手国への専門家派遣や研修員の受入れ等を通じた日本の食産業の海外展開を支える相手国の人材の育成

#### (8)技術開発の推進

- ・ 産学官連携による現地のニーズに即した農業生産・食品製造等の技術開発、品種開発、遺伝資源確保の推進
- ・ 我が国と相手国の産学官の連携研究の強化(我が国と相手国の大学・研究機関・企業間の協力に関する協定等の締結等)

#### (9)資金調達

- ・ JICA 海外投融資・円借款、JBIC 出融資、NEXI 貿易保険、クールジャパン・ファンド、A-FIVE、日本政策金融公庫融資、民間農業リスク保険等の活用

#### (10)関係省庁・機関の連携強化と体制整備

- ・ 農林水産省を含む関係省庁や関係機関等の政策との連携強化
- ・ 民間企業と経済協力の連携による FVC 構築推進のための農林水産省の体制整備

## **2. 地域別戦略**

潜在的成長力等から民間投資のニーズが高く、官民連携の取組が有効と考えられる以下の地域について、二国間政策対話や官民協議会等の枠組みを活用しながら、具体的な取組を重点的に推進。

### **(1) アセアン**

- ・ 食品加工団地とコールドチェーン整備等による高付加価値型の FVC 構築
- ・ 東西・南北・南部の経済回廊や拠点都市を中心とした FVC 構築と第三国展開
- ・ マレーシア、インドネシア等を拠点とするハラール食品の FVC 構築と第三国展開
- ・ 遺伝資源の保全・持続的利用や東アジア植物品種保護フォーラムを通じた国際協力と一体的に進める FVC 構築

### **(2) 中国**

- ・ 沿海・内陸の大都市を中心とした FVC 構築と日本食の一層の普及

### **(3) 南西アジア(インド等)**

- ・ 食品加工団地とコールドチェーン整備等による高付加価値型の FVC 構築
- ・ 主要都市と農業地帯等を結ぶ FVC 構築と灌漑、電力等のインフラの一体的整備

### **(4) 中東**

- ・ 乾燥地農業技術、植物工場、高品質・ハラール食品等の導入による FVC 構築

### **(5) 中南米**

- ・ 安定的で高い成長力を有する巨大市場における健康・安全・高品質等の日本の「強み」を活かした FVC 構築

### **(6) アフリカ**

- ・ TICAD と民間投資の連携による高付加価値農業の振興や6次産業化等による FVC 構築

### **(7) ロシア・中央アジア**

- ・ 寒冷地農業技術導入、卸売市場や物流体制整備等による FVC 構築

(了)